

科目名		サーバ構築実習 1							年度	2025	
英語科目名		Server construction practice 1							学期	前期	
学科・学年		情報処理科 システム運用コース 2年次		必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員		蛭名		教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】											
インターネットの普及・定着に伴い、企業内ネットワークもインターネットの仕組みを流用したイントラネットをベースにした形態が一般的になっている。ITシステムの構築・運用・管理に従事するエンジニアを目指すためには、認証基盤に関する基本的な事項とネットワークの運用形態、主要なサーバーの役割を理解し、必要なものを選択して実装できる技能を有することが必要となる。この科目では、イントラネットで動作している各種サーバーについての知識を学び、課題や実習を通じてその構築方法の基本手順を理解することを目的とする。											
【科目の概要】											
本科目では、仮想化ソフトを用いて2台の仮想マシンを作成してWindowsネットワークを構築し、イントラネットをベースとした企業内ネットワークで必要とされる主要なサーバー（WebサーバーやDNSサーバー、DHCPサーバー、ファイルサーバー、プリンタサーバー等）の役割や構築上のポイントについて講義を受け、サーバー構築を行って実践する。また、Windowsネットワークの運用形態であるワークグループとActiveDirectoryドメインの特徴と適用区分についても学習し、これらの形態で運用するために必要な知識や作業についても学習する。											
【到達目標】											
本科目の到達目標は、イントラネットサーバーの種類とその役割を理解し、企業内ネットワークを構築する際に必要なサーバーを選択して必要なサービスを提供・管理できるようになることである。サーバ構築実習1では、Windowsネットワークと主要なサーバーの構築を行うために必要となる知識と実装方法の習得を目指す。なお、本科目の学習は、仮想化技術を活用して実施するため、検証環境の構築に役立つ仮想マシンの設定やインストール方法の理解も副次的な目標となる。											
【授業の注意点】											
本科目では、OSの設定自体を扱うため、設定ミスの影響は多岐にわたる。また、動作不良を起こした場合の原因の特定についても、あらゆる可能性を一つずつ検証しながら行わなければならないケースも想定されるため、毎回の授業開始時に、スナップショットを取得し、必要に応じて当日の学習状態を破棄して、再度学習できるようにしておくこと。また、積み上げ形式でサーバーの環境を構築していくため、前回の授業で行ったことを前提に、当日の授業を進める必要がある。公欠などで欠席した場合、授業で進んだ箇所を確認し、次の授業までに設定を行っておくこと。総授業時間の4分の3以上の出席がない場合、定期試験を受けることができない。なお、本科目は、必要に応じて、同日実施の運用コースの科目「運用管理」と実施順序を変えてを実施する。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	ワークグループの概念を理解し、独力で要件を満たすようにワークグループを構成したり、ローカルユーザーの管理を行える	参考手順書を参照しながら、独力で指定通りにワークグループを構成したり、ローカルユーザーの管理を行える	つまづいた点を質問して解消することにより、参考手順書を参照しながら、指定通りにワークグループを構成したり、ローカルユーザーの管理を行える	指導を受けながら、ワークグループを構成したり、ローカルユーザーの管理を行える	指導を受けても、ワークグループを構成したり、ローカルユーザーを作成できない						
到達目標 B	学習したサーバーについて、その役割や概念を理解し、独力で要件を満たすように構築と必要な設定を行える	学習したサーバーについて、参考手順書を参照しながら、独力で指定通りに構築と必要な設定を行える	つまづいた点を質問して解消することにより、参考手順書を参照しながら、学習したサーバーについて指定通りに構築と必要な設定を行える	指導を受けながら、学習したサーバーについて構築と必要な設定を行える	指導を受けても、学習したサーバーについて、構築と必要な設定を行えない						
到達目標 C	ADドメインについて基本事項を理解し、独力で要件を満たすようにDCの構築・設定やドメインアカウントの管理を行える	参考手順書を参照しながら、独力で指定通りにDCの構築・設定やドメインアカウントの管理を行える	つまづいた点を質問して解消することにより、参考手順書を参照しながら、指定通りにDCの構築・設定やドメインアカウントの管理を行える	指導を受けながら、DCの構築・設定やドメインアカウントの管理を行える	指導を受けても、DCの構築・設定やドメインアカウントの管理を行えない						
到達目標 D	OUやグループポリシーについて基本事項を理解し、独力で要件を満たすように作成と設定を行える	参考手順書を参照しながら、独力で指定通りにOUやグループポリシーの作成と設定を行える	つまづいた点を質問して解消することにより、参考手順書を参照しながら、指定通りにOUやグループポリシーの作成と設定を行える	指導を受けながら、OUやグループポリシーの作成と設定を行える	指導を受けても、OUやグループポリシーの作成と設定を行えない						
到達目標 E	共有サービスを理解し、要件を満たすようにアクセス権を設定し、フォルダやファイル、プリンタを共有できる	参考手順書を参照しながら、独力で指定通りにアクセス権を設定し、フォルダやファイル、プリンタを共有できる	つまづいた点を質問して解消することにより、参考手順書を参照しながら、指定通りにアクセス権を設定し、フォルダやファイル、プリンタを共有できる	指導を受けながら、アクセス権を設定し、フォルダやファイル、プリンタを共有できる	指導を受けても、フォルダやファイル、プリンタを共有できない						
【教科書】											
サーバーしくみと技術がこれ一冊でしっかりわかる本（株式会社技術評論社）											
【参考資料】											
なし											
【成績の評価方法・評価基準】											
各課題を100点満点で採点し、60点以上を合格とする。この科目の授業中において、課題として授業内テストを実施する。このテストでは参照物を使用することができる。積極的な授業参加度や課題の提出状況によって評価する。積極性や参加意欲が重視されるため、日々の姿勢も評価に反映します。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等